

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公表番号】特表 2002-509415 (P2002-509415A)

【公表日】平成 14 年 3 月 26 日 (2002.3.26)

【出願番号】特願 2000-540451 (P2000-540451)

【国際特許分類】

H 0 3 L 7/081 (2006.01)

G 0 1 R 25/00 (2006.01)

【F I】

H 0 3 L 7/08 J

G 0 1 R 25/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 19 日 (2005.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 位相検波器と、

前記第 1 位相検波器の複製である第 2 位相検波器と、

前記第 2 位相検波器のフィードバックループに連結された位相シフトと、

前記第 2 位相検波器の出力と前記位相シフトの間に連結された増幅器とを備え、

前記位相シフトの出力は、前記第 1 位相検波器及び前記第 2 位相検波器の各々の入力に連結され、

前記第 2 位相検波器は、クロック信号と位相シフトによってシフトされた前記クロック信号の位相シフトとを受け入れ、

この位相シフトの量は、前記クロック信号と前記クロック信号の位相シフトとを比較することにより求められることを特徴とする自己補償型位相検波装置。

【請求項 2】 第 1 クロック信号と位相シフトされた第 1 クロック信号とを第 1 位相検波器で比較する段階と、

前記第 1 クロック信号と前記位相シフトされた第 1 クロック信号とを比較した結果に基づき、前記第 1 クロック信号の位相シフトを調整する段階と、

前記第 1 位相検波器の複製である第 2 位相検波器において、前記位相シフトされた第 1 クロック信号を第 2 クロック信号と比較する段階とを含むことを特徴とする位相検波方法。

【請求項 3】 第 1 クロック信号に応答してデータを転送するためのシリアルバスと

、

前記シリアルバスに接続されたトランシーバとを備え、前記トランシーバは、第 2 クロック信号に応答するとともに、第 1 位相検波器、第 2 位相検波器、及び位相シフトを含み、前記第 1 位相検波器及び前記位相シフトは、負のフィードバックループに連絡され、前記クロック信号と前記クロック信号の位相シフトとの比較に基づいて前記静的位相エラーを補償するために前記第 1 クロック信号及び前記第 2 クロック信号の一方をシフトさせ、

位相シフトによる位相シフトの量は、上記の比較によって決定されることを特徴とする自己補償型位相検波装置。